安　全　デ　ー　タ　シ　ー　ト

整理番号 TNI 00601
作成日 2005/12/1
最終更新日 2015/1/1

1. 化学物質及び会社情報

会　　社　：大陽日酸株式会社
住　　所　：〒142-8558　東京都品川区小山 1-3-26 東洋 Bldg.
担当部門　：SI 事業部　　　　　担　当　者　：平　　博　司
電話番号　：03-5788-8695　　　FAX 番号　：03-5788-8710
緊急連絡先：SI 事業部（電話番号 03-5788-8550）
メールアドレス： Isotope.TNS@tn-sanso.co.jp
ホームページアドレス：http://stableisotope.tn-sanso.co.jp

化学物質　　フタル酸ジブチル

製品名　　フタル酸-3,4,5,6-d_4 ジブチル

＊ 安定同位元素で標識された化合物は、標識核種及び位置により製品名称が異なりますが、安全性データは非標識化合物と同一とみなします。従って、特に指定しない限り本シートに記載されているデータは、非標識化合物のデータを採用しています。

---

2. 危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

物理化学的危険性：	火薬類	分類対象外
	可燃性・引火性ガス	分類対象外
	可燃性・引火性エアゾール	分類対象外
	支燃性・酸化性ガス	分類対象外
	高圧ガス	分類対象外
	引火性液体	区分外
	可燃性固体	分類対象外
	自己反応性化学品	分類対象外
	自然発火性液体	区分外
	自然発火性固体	分類対象外
	自己発熱性化学品	分類できない

	水反応可燃性化学品	分類対象外
	酸化性液体	分類対象外
	酸化性固体	分類対象外
	有機過酸化物	分類対象外
	金属腐食性物質	分類できない
健康に対する有害性：	急性毒性（経口）	区分 5
	急性毒性（経皮）	区分外
	急性毒性（吸入：ガス）	分類対象外
	急性毒性（吸入：蒸気）	分類できない
	急性毒性（吸入：粉じん）	分類対象外
	急性毒性（吸入： ミスト）	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分 3
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分 2B
	呼吸器感作性	分類できない
	皮膚感作性	区分 1
	生殖細胞変異原性	区分外
	発がん性	区分外
	生殖毒性	区分 2
	特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）	区分 1(腎臓、神経系) 区分 3(気道刺激性)
	特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）	区分 1(呼吸器) 区分 2(精巣、肝臓)
	吸引性呼吸器有害性	分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性	区分 1
	水生環境慢性有害性	区分外

ラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語：　危険

危険有害性情報：　飲み込むと有害のおそれ（経口）

軽度の皮膚刺激

眼刺激

アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
生殖能又は胎児への悪影響のおそれの疑い
腎臓、神経系の障害
呼吸器への刺激のおそれ
長期又は反復ばく露による呼吸器の障害
長期又は反復ばく露による精巣、肝臓の障害のおそれ
水生生物に非常に強い毒性

注意書き：　【安全対策】
使用前に取扱説明書を入手すること。
すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
適切な保護手袋を着用すること。
必要に応じて個人用保護具や換気装置を使用し、ばく露を避けること。
ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
取扱い後はよく手を洗うこと。
屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。
環境への放出を避けること。

【応急措置】
吸入した場合、被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。
汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
汚染された衣類を再使用する前に洗濯すること。
皮膚に付着した場合、皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼に入った場合、眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合、気分が悪い時は、医師に連絡すること。
ばく露又はその懸念がある場合、医師の手当、診断を受けること。
漏出物は回収すること。

【保管】
容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。
施錠して保管すること。
【廃棄】
内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務を委託すること。

---

3. 組成・成分情報

単一製品/混合物の区分‥ 単一の化合物
化学名 ……………… フタル酸ジブチル
別名 ………………… ジブチルフタレート、ＤＢＰ
含有量 ……………… ９９．０%以上
化学式又は構造式 …… $C_{16}H_{22}O_4$　$C_6H_4[COO(CH_2)_3CH_3]_2$
官報公示整理番号 …… 化審法：（３）－１３０７
ＣＡＳ番号 ………… ８４－７４－２
国連分類番号 ……… ９　等級Ⅲ
国連番号 …………… ３０８２（環境有害物質、液体）

---

4. 応急措置

目に入った場合 …… 直ちに流水で１５分間以上洗眼する。症状によっては、眼科医の診察を受ける。
皮膚に付着した場合 … 石けん水で十分洗浄する。
吸入した場合 ……… 速やかに清浄な空気の場所に移し、安静にする。症状によっては、医師の診察を受ける。頭痛、めまい等の自覚症状が現れた場合は、速やかに医師の診察を受ける。
飲み込んだ場合 …… 出来るだけ吐かせ、水でよく口中を洗浄し、医師の診察を受ける。（無理に吐せてはいけない。）

---

5. 火災時の措置

消火剤 ……………… 粉末、炭素ガス、乾燥砂、耐アルコール泡、注水厳禁。
消火方法 …………… 周辺火災の場合は、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は、容器の周囲に散水して冷却する。着火した場合、初期には粉末、炭素ガス、乾燥砂等を用いる。大規模火災の際には、泡消火剤等を用いて空気を遮断することが有効である。消火作業の際には必ず保護具を着用する。風下から作業をしない。

6. 漏出時の措置

･･････････････････････ 【少量のこぼれ】ウエス、土砂等に吸着させて空容器に回収する。

【大量のこぼれ】漏洩した液は、土砂等でその流れを止め、安全な場所に導き、液の表面を泡で覆い、できるだけ空容器に回収する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い ････････････････ 作業を開始する前に､換気扇または局所排気装置を作動し保護マスク、保護手袋等を用い、直接触れない様にする。

保管 ･･････････････････ 容器は密栓し、冷所に保管する。火気厳禁。消防法に準拠した保管場所に貯蔵する。

8. 暴露防止及び保護措置

許容濃度 ･･････････････ ＡＣＧＩＨ：５ｍｇ／ｍ３

設備対策 ･･････････････ 局所換気装置｡皮膚を防護し有機ガス用防毒マスク､保護眼鏡､労働衛生保護手袋等を使用する。中毒者を救出する場合は、送気マスクまたは、空気呼吸器を使用する。

9. 物理及び化学的性質

外観等 ････････････････ 無色無臭の油状の液体。

沸点 ･･････････････････ ３３９℃

融点 ･･････････････････ －３５℃

比重 ･･････････････････ １．０４８５（２０／４℃）

溶解度 ････････････････ 水は不溶。（０．０１ｗｔ％（２０℃））

有機溶媒に可溶。塩化ビニルをはじめ各種ビニル系合成樹脂、セルロース系樹脂と相溶性がよい。

蒸気圧 ････････････････ ０．１ｍｍＨｇ（８９℃）　２．０ｍｍＨｇ（１５０℃）

蒸気密度 ･･････････････ ９．５８

引火点 ････････････････ １５７℃（密閉）　１７℃（開放）

発火点 ････････････････ ４０３℃

揮発性 ････････････････ 殆どなし。（０．９８ｍｇ／ｃ㎡・ｈｒ（１００℃））

可燃性 ････････････････ あり。

発火性 ････････････････ なし。

酸化性 ････････････････ なし。

10. 安定性及び反応性

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 不揮発性で常温では非常に安定であるが、長時間加熱すると一部分解して無水フタル酸を遊離する。

11. 有害性情報

急性毒性 ・・・・・・・・・・・・・・ フタル酸のエステルの毒性は一般に極めて弱いと報告されてきたが、最近いろいろな障害を起こすとの報告もありその安全性について疑問を持たれるようになっている。摂取吸入により胃腸障害を起こし、また１４０ｍｇ／ｋｇ（ヒト）で中毒症状を起こす。

ＬＤ５０	経口	ラット	８ｇ／ｋｇ
ＬＤ５０	皮膚	ウサギ	＞２０ｇ／ｋｇ
ＬＣ５０	吸入	ラット	４２５０／ｍ３
ＬＤ０	皮膚	ラット	６ｇ／ｋｇ
ＬＤ５０	腹腔	マウス	４１０ｍｇ／ｋｇ

刺激性 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 皮膚、眼、粘膜を刺激する。

皮膚腐食性 ・・・・・・・・・・・・ なし。

12. 環境影響情報

分解性 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 環境有害物質（Ｂ類物質）

13. 廃棄上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 環境汚染の原因になるのでそのまま廃棄してはならない。燃焼法に従って、おが屑、ウエスに吸収させ、開放型の焼却炉で少量ずつ焼却するか、可燃性溶剤（廃アルコール等）で希釈して、焼却炉の火室へ噴霧し焼却する。

14. 輸送上の注意

・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 漏洩及び火気に十分注意し慎重に運ぶ。直射日光を避ける。その他、消防法などの法令に定めるところに従う。

15. 適用法令

ＰＲＴＲ法 ・・・・・・・・・・・・ 第１種指定化学物質

労働安全衛生法 ・・・・・・・・ 名称等を通知すべき有害物

消防法 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 第４類引火性液体、第三石油類非水溶性液体

大気汚染防止法 ・・・・・・・・ 有害大気汚染物質
海洋汚染防止法 ・・・・・・・・ 個品運送Ｐ
有害液体物質（Ａ類物質）
バーゼル法 ・・・・・・・・・・・・ 廃棄物の有害成分・法第２条第１項第１号イに規定するもの
船舶安全法 ・・・・・・・・・・・・ 有害性物質
外為法 ・・・・・・・・・・・・・・・・ 輸出貿易管理令別表第ニ
輸入貿易管理令第４条第１項第２号

---

16. その他の情報

【参考文献】

溶剤ハンドブック	講談社
化学大辞典	共立出版社
化学物質の危険．有害便覧	中央労働災害防止協会
14504 の化学商品	化学工業日報社
Merck Safety Datum	
産業中毒便覧(1992.7)	医歯薬出版
化学品法規制検索システム	日本ケミカルデータベース
GHS 仕様モデル SDS	中央労働災害防止協会 安全衛生情報センター

＊ この安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。また、含有量、物理及び化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。なお、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであり、特殊な取扱いをする場合には、その用途・用法に応じた安全対策を実施して下さい。